教科書p.58～59　　　　　　年　　　組　　　番　名前

**７　自己形成**

**✐知識の確認**　　しっかり理解できたものにチェック☑をつけましょう。

**①自己を見つめる**

□思春期になると、自分自身を一つの（　対象　）として見つめるようになります。

□自分自身を（　客観的　）に見つめるようになると、かえって自分自身がわからなくなることがあります。（　力　）のなさを感じて必要以上に落ち込んだり、（　理想　）の自分と現実の自分の隔たりに悩んだりすることもあります。逆に、自分が（　大人　）に近づいていることや、自分の（　長所　）や得意なこと、可能性を実感することもあります。

**②自己形成に向けて**

□自分らしい、あるいは自分ならではの考え方や行動の方法がつくられていくことを　　　　（　自己形成　）といいます。

□自己形成の過程で、長所も短所も全部含めた（　ありのまま　）の自分に出会います。大切なのは、それを受け入れて「（　自分　）が好きだ」と思えるようになることです。

□日頃行っているさまざまな教科の学習や部活動、いろいろな人との（　つきあい　）、読書などに積極的に取り組み、さまざまな（　生き方　）や考え方に触れることは、豊かな心を持った「自分」を築き上げることにつながります。

memo